

個人質問

9月定例市議会では、三十六人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般



飲酒運転撲滅に向けて

問 飲酒運転による交通事故多発を受け①庁内での取り組みは②飲食店へ「飲んだら乗せない」取り組みを呼びかけては。

答 ①平成18年8月30日付通達で、交通事故防止及び安全運転の徹底を周知した。また、これを機に飲酒運転についての懲戒基準を厳罰化の方向で明文化し、9月末までに示したい②飲酒運転撲滅の機運を市民ぐるみで高めるため、飲食店にポスター等掲示の協力を求めるなど、効果的な取り組みを検討したい。

市民協働で

災害時の要援護者を支援

問 災害時における要援護者対策の考え方は。
答 行政がすべて対応することは困難であるため、地域に密

いる安全・安心ネットワークの取り組みにも期待している。

各種制度の活用で投票率向上を

問 投票率向上に向け①郵便投票制度②不在者投票施設制度の周知を図っては。

行財政



地方自治法改正を受け

来年4月副市長制を導入

問 改正地方自治法に①副市長制の導入②監査委員の増員等が盛り込まれたが、本市の対応は。

答 地方公共団体の自主性・自律性の拡大を目的とする法改正を受け、本市も平成19年4月から助役を廃し副市長制へ移行する。なお、監査委員制度見直しについては、改正に伴う組織体制の在り方や副市長に委任する事務の範囲等具体的な内容を含め、他都市や公会計改革等の

答 ①広報紙やホームページでの周知に加え、投票所入場券を郵送する際、制度の概要説明のチラシを同封するなど周知方法を検討したい②一定の基準を満たし県選挙管理委員会から指定された施設において、不在者投票が可能となる制度であり、本市では引き続き該当施設へ制度のPRに努め、入院・入所により投票所へ行けない選挙人に対し、できるだけ投票の機会と便益を提供したい。

市民の意見を反映し

都市ビジョン策定へ

問 平成18年度中に策定予定の本市「都市ビジョン」に、市民の意見を反映させるべきでは。

答 都市ビジョンは、現在取りまとめられている「岡山みらい会議」の提言を骨子として、将来の都市像とその実現に向けた政策の方向性を示すものだ。ビジョン策定に際し、本年1月9月23日から開催予定の「市民みらい懇談会」での意見のほか、

パブリックコメント等により、市民の意見を反映させたい。



将来の都市像を探り活発な議論
～「岡山みらい会議」

政令指定都市移行

平成21年を視野に推進

問 政令指定都市への移行時期の考えは。

答 先行政令指定都市では二年度程度の移行準備期間を要しており、平成19年の建部町・瀬戸町との合併後、最短期間での移行を目指し、市制施行百二十年の年である21年を視野に入れて、庁内の推進体制を整備するとともに、国・県との連携のもとの準備を進めたい。

今年度の機構改革

組織再編の影響は

問 平成18年度機構改革では、課長のほかに担当課長を配置した課もあり、課の数を減らしたことになるのでは。また、